



Vol.171

2026年7月15日発行
(令和8年)

議会だより

しらたか

山形県白鷹町議会
6月定例会



勝利に向かって突き進め

白鷹中学校野球部 練習試合

11ページに関連記事

次世代につなぐこと 定例会概要 ②

ここが聞きたい 一般質問で町政を問う ④

平和的解決を求める決議 ⑪

追跡レポート 政策提言回答 ⑮

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

この広報は、議員の自主編集で発行しています。

定例会の概要

6月 定例会

定例会は6月4日から11日までの8日間で開かれ、本会議と予算特別委員会で審議した議案は、すべて原案どおり全会一致で可決しました。

【会議の種類】

- 本会議(4日、5日、11日)
- 議会運営委員会(5日、11日)
- 予算特別委員会(5日 🔍 p9)
- 全員協議会(5日)
- ふるさと森林公園再整備特別委員会(5日 🔍 p11)
- 産業建設常任委員会(8日 🔍 p12)
- 総務厚生常任委員会(9日 🔍 p13)
- 議会広報特別委員会(11日)
- 議会活性化特別委員会(11日 🔍 p16)

【本会議の主な議事内容】

- 諸般の報告(山形県・置賜地方町村会議長会臨時総会の内容が報告されました)
- 所信表明(町長が、町政をどのように進めていくかについて所信を述べました)

○一般質問

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 第6次白鷹町総合計画とまちづくり理念について | 丸川 雅春 議員 🔍 p4 |
| 2. 近隣市町との広域連携について | 金田 悟 議員 🔍 p5 |
| 3. 田宮町政のまちづくりについて | 笹原 俊一 議員 🔍 p6 |
| 4. ①学校給食について ②中丸公園について | 横山 和浩 議員 🔍 p7 |
| 5. 地域公共交通網の構築について | 衣袋 正人 議員 🔍 p8 |

- 農業委員会委員(11人)の任命について提案があり、同意しました。(🔍 p10)
- 令和8年度一般会計補正予算案について提案があり、可決しました。(🔍 p9)
- 町道工事を行うための施工業者との契約案が提出され、可決しました。(🔍 p10)
- 中東情勢の緊張緩和と平和的解決を求める決議が提出され、可決しました。(🔍 p15)
- 副町長の選任について提案があり、同意しました。



新副町長に期待



鈴木 慎一 副町長 ごあいさつ

田宮町長とともに、町政の発展、住民福祉の向上のため、尽力してまいります。

町民の皆さまよろしくお願ひいたします。

クローズアップ

・・・次世代につなぐこと・・・

小学校のトイレが全て洋式化されます



小学校には、各トイレに1～2基の洋式トイレがありますが、63基の洋式便器を新設し、すべてのトイレが洋式化されます。

7月上旬に入札を行い業者が決まります。工事は7か月ほどかかり、令和9年2月の中・下旬に完了する見込みです。

工事費用の財源は国からの補助金が1/3、その他として過疎対策事業債（町の負担が少なくなる国の財政支援つきの借金）などです。

 詳しくは9ページをご覧ください。

消防団の機動力が強化されます



団員数の減少、働き方の多様化、町外勤務団員の増加などが進む中、班の再編が行われます。今年4月現在で66班あるうち3割程度の削減を目指し、今年度は3班減らす予定です。町は、確実に出動できる体制を整えたいとしています。

小型ポンプ班に軽積載車を配備し、機動力の強化と広範囲をカバーできる体制にします。8年度は3台を配備し、ポンプ庫の建て替えを行います。

財源は緊急防災・減災事業債（防災・減災の工事に使える国の財政支援つきの借金）などです。

 詳しくは9ページをご覧ください。



録画を配信

前期基本計画 成果があったものは

町長 子育て環境の満足度や林業生産額が上昇した



まる かわ まさはる
丸川雅春 議員

佐藤前町長が掲げた理念を引き継ぐ、田宮町長版「共創のまちづくり」に期待する。

コロナ禍の影響

問 第6次総合計画の前期が終わり、コロナ禍の影響と、成果があった施策等をどう評価したか。

町長 特に人の移動が制限されたことで、観光、交流分野で大きな影響を受けた。

一方、成果があったものとして、子育て環境の満足度や林業生産額が平成30年度比で大幅に上昇している。評価に当たっては、単に目標値の達成だけでなく、コロナという特殊な社会情勢を十分考慮している。

関係人口と共創のまちづくり

問 担い手確保にもつながる、関係人口という概念が入ってきたことで、「共創のまちづくり」をどのように進めていくのか。

町長 国の事業である「ふるさと住民登録制度」の活用を準備している。共創の担い手として、ふるさと住民登録者を加えることで、広く多様な視点等を地域づくりに取り込むことが可能になると考えている。

ふるさと納税者も

問 ふるさと納税者も関係人口として認識し、つながりを持っていくべきと考えるが、いかがか。

企画政策課長 寄付という形で町を応援していただいているので、関係人口と認識している。「ふるさと住民登録制度」にどのような形で登録していただけるか今後検討し、つながりを継続していきたい。

まちづくりの課題

問 町民参画のまちづくりの課題解決への取り組みは。

町長 「共創のまちづくり」の理念をより実質的なものにしていくためには、幅広い町民の皆様と行政が直接対話できる場を増やすことが重要である。そのため今後、移動町長室を考えている。

移動町長室

問 移動町長室は具体的にどのようなものか。

町長 各地区のコミュニティセンターに伺い、町民の皆様や町内に勤務されている方などを対象に、個別の要望を受けるといったことなく、直接意見交換をするもの。

問 学校での移動町長室の実施を考えてはどうか。

町長 子どもたちの意見を町政に反映させることも大事であり、まずは教育委員会等で検討し、小中高校生版を前向きに考えていきたい。



森林の未来を考えるワークショップ

私もひとこと

ワクワクするような「共創のまちづくり」を。
(40代女性)

近隣市町との広域連携の方向性は

町長 最適な広域化の形を模索していく必要がある



録画を配信



かねだ さとる
金田 悟 議員



津島台浄水場

人口減少・高齢化が進み、町単独での事業及び業務が困難になることが予想されるため、広域連携をどのように進めていくのか質問した。

平成の大合併

問 平成の大合併はしないと判断した経緯は。

町長 町の将来を見据えた議論が行われた。

当時、人口規模や財政面への影響に加え、住民サービスの低下懸念など、多方面から慎重に議論を重ね、町民の皆様や議会との対話を通じて、独自の自治を維持すると決定された経緯があった。

行政事業の広域化

問 人口減少・超高齢化が確実視される。

当町の将来に向けた行政事業の広域化の方針は。

町長 既存の枠組みを基本としながら新たな視点で課題を整理し、町民の皆様の声を丁寧に拾い上げながら検討を重ね、最適な広域化の形を模索していく必要がある。

水道事業の広域化

問 長井市、白鷹町、飯豊町で計画されている水道事業の広域化に向けた経過と今後の見通しは。

上下水道課長 3市町では、給水収益が減少し、老朽施設の維持管理・更新等への対応が課題となっている。

また、国のモデル事業によると「平山浄水場を活用し、平野、小白川、津島台浄水場を廃止した事業統合案が、維持管理費用等の削減効果が最も大きい」という結果が得られ、今後、結果を参考とし、3市町で協議を進めていく。

危険十字路の改良

問 西高玉薬師桜周辺の变形十字路改良工事の今後の方針は。

町長 町の重要事業に位置づけて、県に要望をしている。交差点改良をする際には、用地の確保が重要となってくるため、事前の調査をさせていただいて検討していきたい。

フラワール長井線

問 フラワール長井線は重要な基幹交通だが、将来は支援額負担が重荷になることも想定される。

全国では鉄道路線を廃止し路線バスに転換するなどの取り組みがあるが、どのように考えているか。

町長 鉄道は、今利用している人だけのものではないと思い、将来の世代も含めた地域全体の「宝」として位置づけていく必要がある

私もひとこと

今後、広域連携は必要になってくると思う。町民のためとなる議論を加速していただきたい。
(70代男性)

と思う。ただ、そのためには、沿線自治体や行政が支援するだけではなく、利用促進や観光振興といった、沿線全体で連携しながら取り組んでいきたい。

クマ出没の情報共有

問 隣接する市町で、クマの目撃情報があった場合、町への情報提供のあり方は。

林政課長 現在、情報提供はないが、今後、近隣の市町とも検討していきたい。

学校の在り方の検討をどう進めるか

町長 地域や保護者との対話を進める



録画を配信



ささはらとしかず
笹原俊一 議員

田宮新町長に、初の定例会となる6月議会で、町の諸課題について質問した。

学校の在り方

問 人口減少が進み、少子化が続いている。複式学級という現実が迫る中、どのように議論を進めていくのか。

町長 蚕桑小で令和10年度、東根小で12年度に複式学級の編制が想定される。地域や保護者との対話を大事にしながら検討を進める。

教育長 令和14年度までに、小学生159人、中学生93人の減少が予想される。まずは町長と教育委員で組織される総合教育会議で取り上げ、さらに保護者や地域の皆様、学校関係

者で慎重かつ継続的に協議していきたい。

6次産業化拠点施設

問 建設を進めるに当たり、設計段階から町民へ情報を公開し、敷地内イベントなど民間のピール手法も取り入れて、「完成したら使ってみたい」と思える施設づくりを検討してはどうか。

町長 イベントなどを行い、行ってみたいと思える場にしていきたい。また、拠点施設の魅力やできることを知っていただくことは重要で、完成後は実演や

体験の機会を設け、利用促進につなげていきたい。

ふるさと森林公園

問 巨額の費用をかけて改修することに町民から懸念の声がある。町長は「できるのはどこまでかを検証する」と表明したがどう進めるのか。

町長 森林公園再整備は事業費が想定を超える見込みのため、町民や議会の意見を聴きながら事業内容を改めて検証したい。



建設を待つ6次産業化拠点施設

問 その検討の中には事業規模の見直しや段階的な整備、計画全体の再構築といった選択肢も含まれるのか。

町長 事業全体を白紙に戻すのではなく、積み重ねた基本構想や設計を有効に使いながら、現状の社会情勢や財政状況に合った最適な整備を検討する。老朽化も進んでいるため、できるだけ早い段階で方向性を整理したい。

有害鳥獣対策

問 鳥獣被害が年々増加している。捕獲数に対し処分は追い付いているのか。また、課題は何か。

町長 自家消費を除く全頭を埋設処分している。捕獲頭数に対して処分が追い付かない状況ではないが、実施隊員の高齢化、埋設場所の確保が課題である。

問 処理施設を町単独で整備する方針は変わらないか。また、現在の選定状況はどうか。

町長 白鷹町単独で整備する。処理施設の新たな候補地を選んだので、所有者と地域の理解を得たうえで整備していきたい。施設供用開始までは建設期間を含め、整備地の決定から3年程度が必要と考えている。

私もひとこと

新町長には、町の課題に向き合い、町民の声をしっかり聴きながら頑張ってもらいたい。
(60代女性)

学校給食の質・価値の維持継承は

教育長 地産地消や食育活動を継続する



録画を配信

学校給食と中丸公園（児童公園エリア）の今後の方針について質問した。

【学校給食】

給食の質・価値

問 給食の質や価値をどのように維持・継承するのか。

【教育長】 地産地消や食育活動を継続して取り組みたいと考えている。無償化による保護者の関心低下が危惧されるため、取り組みの周知に努めたいと考えている。

老朽化が進む調理場

問 学校給食共同調理場の改修・建て替えをどう進めるのか。



よこやまかずひろ
横山和浩 議員

【教育長】 いまの課題に対応しながら、現場の意見と学校の在り方も踏まえ、建て替えに向けた検討を進めたいと考えている。

食物アレルギー対応

問 食物アレルギーへの対応状況と課題は。

【教育次長】 現在14人に代替食を提供。設備面では、専用エリアなど一般と区別できる工夫が必要。手順など定めるマニュアル策定の準備を進めている。



味が自慢の学校給食

給食で不登校を支援

問 不登校児童生徒に調理場ほかで給食提供を行う自治体がある。当町で行った場合はどのような効果が見込めるか。

【教育次長】 栄養確保や孤食防止、交流機会による社会性の育成が期待でき、当町でも同様の効果が得られるだろうと考える。

問 給食調理場を活用した不登校支援を行う考えはあるか。

【教育次長】 事例を参考に、取り組みの実施に向けた方策について検討したいと考えている。

災害時の施設活用

問 炊き出しなど、災害時の施設活用は。

【総務課長】 災害時に、どのような活用が可能か、教育委員会と検討を進めたいと思っている。

【中丸公園】

レクリエーション機能

問 中丸公園（児童公園エリア）のレクリエーション機能は、どのように強化するのか。

【町長】 子育て・教育・福祉分野との連携から必要な機能を判断し、利活用の方策を研究したい。



中丸公園で元気にあそぶ

問 方策の研究はどのように進めるのか。

【建設課長】 関係分野と意見交換し原案を作成する必要があると考えている。その後はパブリックコメントや議会から意見を頂戴するなど対応したいと考えている。

子育て世代

問 子育て世代などが、安心して長時間滞在するにあたり、十分な状況にあるか。

【町長】 遊具は設置されているが、駐車場やトイレなどには課題もあり、状況を見ながら改善できればしていきたいと思う。

私もひとこと

県内トップレベルの給食に感謝。PTAでの試食会など、意識が薄れないよう保護者も工夫を考えなければと思う。
(30代女性)



録画を配信

交通弱者の移動手段の確保はどうする

町長 交通弱者の移動手段は解決すべき重要課題



いぶくろまさ と
衣袋正人 議員

通院・買い物など移動困難な方の交通手段の確保充実を期待し、当局の方針を問う。
移動手段の確保

問 当町では中心部への都市機能集約を図る方針であるが、周辺地域に暮らす方の移動手段の確保はどうか。
町長 機能集約化と、住民サービスを誰もが受けられる交通サービスの維持向上を推進している。
交通弱者の移動手段の確保は、町づくりと一体的に解決すべき重要な課題であると認識している。

デマンドタクシー

問 デマンドタクシーは突発的な用事に対応しにくいと言われるが、どのように捉えるか。
町長 そのような指摘は一定程度理解するが、行政サービスの過度な充実が地元の民間交通事業者の経営を圧迫することにつながるので、バランスが重要と考える。

問 安価だが、利便性の向上を求める声もある。細やかな対応など改善の検討はあるか。
企画政策課長 利便性

については、乗り合いタクシーとして運輸局の認可を受けているの



デマンドタクシーでお買いもの

で、どうしても制限が出てしまう。
実態やニーズを把握することは、今後のサービス向上に向けて大変有意義なことだと思う。

スクールバス利用

問 一部で混乗型スクールバスの運行を行っているが、通学時間以外の空き時間帯での活用はできないか。
教育次長 近年、登下校の時間だけでなく授業や行事等、有事の際の緊急的運行などで使用しており、慎重な検討・調整が必要である。

タクシー券の増額を

問 春からタクシー運賃が大幅値上げになった。タクシー券の支給を行っているが、物価に連動して増額等を検討してはどうか。
健康福祉課長 運賃改定に関しては承知しているが、単に金額を引き上げるだけでなく実際の利用実績や物価動向などを精査し、ほかの移動支援策との整合性も含め総合的に検討する必要がある。

私もひとこと

免許を返納しろと言われるが、移動手段が無いと困るので車は手放せない。

(80代女性)

… 次世代につなぐこと … 小学校トイレ完全洋式化

一般会計補正予算の主な内容

小学校トイレ洋式化事業

1億2276万円

小学校のトイレをすべて洋式化します。

消防力充実強化事業

5528万円

消防団の機動力を強化します。

文化交流センター改修工事

481万円

あゆーむの空調設備を改修します。

道路施設の災害予防保全対策事業

4600万円

町道沖姫城森合線・町道荒砥浅立線ほか。

農業水利災害防止対策工事

1200万円

鮎貝排水機場の災害防止工事をします。

地域医療体制強化事業

3000万円

地域医療の確保に向けた奨励金の制度です。

町道琴平線消雪整備事業

1000万円

消雪設備を更新します。

学校図書館連携事業

265万円

学校図書館の利用促進のため司書を配置します。

敬老会補助金

145万円

敬老会の補助金を増額します。

など、3億2920万円を補正し、一般会計総額は97億5920万円となった。

◎財源は、国・県支出金、寄附金、繰越金、諸収入、町債などで対応。

※万円未満は端数調整

補正予算の
主な質疑

**小学校トイレ洋式化
改修工事**
佐々木委員 原油・ナ
フサ由来の建築資材の
不足に伴う工事の延期
などがあつた場合、児
童の学習や学校生活へ
の影響と、対策はどう
するのか。
教育長 工期について
は業者と綿密に調整し
影響が極力ないように
計画的に利用を制限し
ながら、調整を図って
いきたい。



学校図書館連携事業
横山委員 学校司書を
配置されるが、その役
割は。また、今後も継
続配置するのか。
教育次長 各小中学校
に図書館システムを導
入するにあたり、図書
選びや親しみを感じて
もらえる環境づくりな
どを行っていただきた
い。今後事業の検証を
し、必要であれば継続
していきたい。



傷んでいる本はないかな



消雪設備の改修を待つ町道琴平線

町道消雪整備事業
竹田委員 町道琴平線
は非常に狭く、国道2
87号から348号へ
の抜け道にもなってお
り交通量も多い、工事
の影響はどのようにな
るか。
建設課長 道路の利用
者が多いとの認識があ
り、基本的に片側交互
通行と考えるが、施工
計画により通行止めな
どの対応が必要になっ
た場合は、地元の皆様
や利用者への周知をも
れなく取り組みたい。

条例

- 白鷹町印鑑条例の一部を改正する条例**
国の要領の一部改正に伴い、印鑑登録証明書の事務の取扱いについて整備を行うもの。

契約

- 町道滝野萩野線道路改良工事（第2工区）請負契約の締結**
条件付き一般競争入札の結果に基づき、交差点改良工事の契約を結ぶもの。
◆契約金額：1億2298万円
◆契約相手：株式会社 高橋組
代表取締役 高橋 剛

町道認定

十王地内の六差路交差点の改良により、起点位置の変更などを行うもの。

- 上野貝生線**：起点位置を変更
- 水上前線**：起点位置を変更
- 水上前北線**：既存道路22.9㍍を新たな路線名に変更



人事

- 白鷹町副町長の選任**
空席となっていた副町長の選任について同意した。2ページに関連記事

鈴木 慎一 氏（山形市城西町）

- 白鷹町農業委員会委員の任命**
任期満了に伴い、次期委員を任命することに同意した。
（任期：7月20日～令和11年7月19日）

児玉 和良 氏（**新任**・高玉）
小林喜久雄 氏（再任・横田尻）
小松 晴治 氏（再任・山口）
富樫 吉廣 氏（**新任**・鮎貝）
小口 修 氏（再任・箕和田）
小口美恵子 氏（**新任**・高岡）
高橋 清吉 氏（再任・荒砥甲）
小林 孝次 氏（再任・滝野）
村上 浩康 氏（再任・浅立）
新野 清 氏（再任・広野）
長谷川新悦 氏（**新任**・畔藤）
以上11人

- 白鷹町固定資産評価審査委員会委員の選任**
任期満了に伴い、引き続き同人を選任することに同意した。
（任期：7月20日～令和11年7月19日）
村上 茂一 氏（再任・高岡）

請願審査

趣旨採択 決議案を可決

- 「アメリカ、イスラエル、イランの情勢に関する決議のお願いについて」の請願**

請 願 者 平和を願う白鷹町民の会
紹 介 議 員 佐々木誠司 議員
請願の趣旨

アメリカ、イスラエルによるイラン攻撃以来、イランによる報復、ホルムズ海峡封鎖など、現在も緊張が続いており誰もが日々の暮らしに大きな不安を抱えている。平和都市宣言を掲げてきた白鷹町として、議会で議論を交わし、平和を求める決議をしていただくことを、決議案を添えて請願する。

審査の付託 総務厚生常任委員会
審 査 結 果 趣旨採択とすべきもの
（請願の趣旨には賛同するが、原案の文言の整理が必要。）
採 決 結 果 **全員賛成により、趣旨採択**

- 請願審査結果を受け決議案を提出
全員賛成により可決

11ページに決議文を掲載

中東情勢の緊張緩和と平和的解決を求める決議

中東地域における軍事衝突は3か月が経過したが、今も緊張状態が続いている。事態の長期化は、人道的危機を深刻化させるだけではなく、中東地域の更なる不安定化を招き、世界の平和と安定にも深刻な影響を及ぼしている。また、原油の供給不足によるエネルギー価格の上昇や物価高騰など、日本国民及び白鷹町民のみならず、世界各国にも影響を及ぼし、不安をもたらしている。

いかなる立場の違いがあっても、これ以上の武力衝突の拡大を避け、事態を沈静化させるべきであり、対話と外交努力による平和的解決が強く求められている。

平和都市宣言を掲げている白鷹町において、本議会は、日本国政府に対して、国際社会と連携し中東情勢の緊張緩和と平和的解決、そして、物流の安定に向けて外交努力を一層強化することを求める。

以上、決議する。

令和8年6月11日

白鷹町議会



ふるさと森林公園
再整備特別委員会

「ふるさと森林公園再整備の取組状況」について説明を受けた。

【当局説明】

概算事業費は当初約25億円だったが、実施設計により約26・8億円になった。上下水道整備を加えると、約31・3億円の事業費が見込まれている。

【今後の事業計画】

当初の計画より事業費が増えており、改めて方針を検討する。

質疑

計画は見直しか

佐々木委員 実施設計から計画を見直すのか。
当局 特別委員会で見直しをいただき、内容を見直していきたい。



表紙

勝利に向かって

突き進め

白鷹中学校

野球部

炎天下、野球部の練習試合が行われました。保護者の皆さんと指導者、部員たちが円陣を組んで地区大会に向けて必勝の思いをひとつにしていきました。

部活動が本格的に「地域展開」として始まりました。指導者確保や組織運営など課題はありますが、地域一体となって支援し、彼らの目標に向かう青春の輝きをみんなで応援したいものです。



産業建設常任委員会 6月8日

有害鳥獣処理施設に理解を得られるか

「有害鳥獣対策の取り組み状況」について説明を受けた。

【令和7年度の捕獲頭数と目撃件数】

《クマ》

○捕獲頭数 36頭

（うち緊急猟銃2頭）

○目撃等報告211件

《イノシシ》

○捕獲頭数 111頭

○目撃等報告50件

【鳥獣出没時の対応マニュアル】

令和8年度より。関係機関全体で対応するマニュアルを作成し運用している。

令和7年度まで2カ所の候補地にて説明会を行うも同意が得られず断念。

【鳥獣処理施設の進捗状況】

令和8年5月

白鷹町鳥獣対策協議会総会において、候補地1カ所を選定。

現在、土地所有者に事業内容について説明を行っている。

【今後の進め方】

賛同が得られなかった場合は、当該地区の代表者と打ち合わせを行う。賛同が得られなかった場合は、新たな整備地の検討を行う。

■現行案

個体をチップで覆い微生物などで分解する減容化処理施設。臭いはなく、管理がしやすいため、関係者の労力軽減が期待できる。

質疑

鳥獣処理施設

【金田委員】処理施設について、同意が得られなかった要因は何か。

【当局】2カ所とも臭いの話があり、施設に臭いはないと説明したが同意を得られなかった。

デジタルの活用

【横山委員】AIやセンサー等を使った取り組みも大切ではないか。

【当局】センサーは居場所が把握できるもの。AIの活用については今後研究していきたい。



減容化処理施設

子育て支援住宅等、建設に遅れ

「子育て支援住宅及び若者定住促進住宅整備事業の取り組み状況」について説明を受けた。

【事業の概要】

○子育て支援住宅 12棟

○若者定住促進住宅 3棟・18戸

○場所 鮎貝神明町

【発注済み工事】

○敷地造成工事

○木質バイオマスボイラー施設整備工事

○工期 令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

令和8年9月30日

また、工事手順上、熱導管理設後の構内道路の舗装工事遅れる見込みとなった。

【工事完了予定】

○発注済み工事

令和9年1月末

○住宅建築工事

①子育て支援住宅6棟

及び若者定住促進住宅1棟

令和9年度

②子育て支援住宅6棟

及び若者定住促進住宅2棟

令和10年度

令和10年度

令和10年度

令和10年度

令和10年度

令和10年度

令和10年度

令和10年度

令和10年度

令和10年度

令和10年度

令和10年度

質疑

遅れによる影響

【横山委員】事業費への影響は。供給開始の時期はどうなるか。

【当局】建築工事が具体化した時点で全体金額を把握したい。供用は令和10年度からの見込み。



敷地造成中

その他

○白鷹町新産業用地整備基本計画について

○地域循環型白鷹ウェルネスツーリズム推進事業

の取組状況について

○水道事業の広域化について

など、説明があった。

町民の生活安定と健康を確保する

「白鷹町新型コロナウイルス等対策行動計画の改定」について説明を受けた。

【目的】

新型コロナウイルスをはじめ、町民の生活や健康に大きな影響を及ぼす感染症について、感染拡大を可能な限り抑制し、健康被害および社会・経済機能の影響を最小限にとどめ、町民の生活安定と健康を確保する。

【基本方針】

- ①的確な情報収集および町民に対する迅速で正確な情報提供
- ②まん延の防止に関する対策および町民に対するワクチン接種の実施
- ③町民の生活および地域経済の安定に関する対策の実施

質疑

情報収集

竹田委員 4月に学識経験者の意見聴取を行い、その後明るい健康都市づくり推進会議で説明とあったが、計画にどのように反映されたか。

当局 会議を実施し、正しい情報収集への対応について留意事項として盛り込んだ。



万が一に備えます

備蓄物資の循環

竹田委員 備蓄しているマスクや消毒液などは、病院や福祉施設に無駄なく循環させていくことも考えているか。

当局 入れ替えも必要で、今後詳細は関係機関と調整していく。

計画の推進

佐々木委員 この計画の役割分担や実際の行動など、平時から訓練などにより備えていくべきと思うがどうか。

当局 計画は作って終わりではないという意識を持ちながら、取り組んでいく。訓練の実施は国や県からの呼びかけもあるので、それに参加し、町としてどのようなことができるのか備えていきたい。

総合戦略、目標は達成されるのか

「第6次白鷹町総合計画（白鷹町デジタル田園都市国家構想人口ビジョン及び総合戦略）の成果目標に対する進捗状況」について説明を受けた。

【概要】

急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるために取り組むべき目標や基本的方向を定めた5カ年計画であり、国の交付金も活用しながら、将来にわたり活力ある社会を維持していくための施策を展開する。

【計画期間】

令和7年度から11年度（5カ年）

【中間指標の評価】

○達成状況に応じてA（順調に進んでいる）～D（進んでいない）の4段階評価を実施。

○令和7年度52項目中、A評価42項目、B評価8項目、C評価0項目、D評価2項目となった。

【低評価の項目】

- ①婚活サポート事業での年間成婚数
- ②新たな伝統工芸後継者の確保

質疑

行政の関わり

関委員 年間成婚数について、団体は一生懸命活動されているが、行政の関わりも考えなければならぬのではないか。

当局 婚活アプリなど他自治体の事例を参考に検討していきたい。



婚活サポート委員会との意見交換会

その他

○有限会社ケイエスしらたかの経営状況について説明があった。



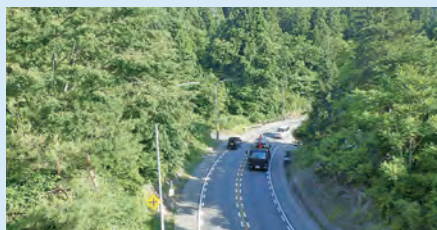
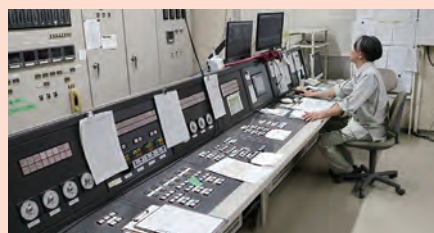
県に要望書を提出 ～早期実現を願う～

6月19日、菅原議長は田宮町長とともに山形県置賜総合支庁を訪問し、「令和9年度重要事業要望書」を総合支庁長に手渡しました。

主な要望（抜粋）

水道事業の広域化

1市2町（長井市・飯豊町・白鷹町）の広域化検討が着実に進展するよう、事業体間調整や支援等の継続的な関与をお願いしたい。



国道348号の高規格化による再整備

西置賜地域住民にとっては中核都市山形市への不可欠な路線。一方、死亡事故や法面崩落などが連続して発生している。高規格化による再整備をお願いしたい。

主要地方道長井大江線道路改築

町内、東横田尻・高田架道橋（フラワー長井線）から鮎貝駅前までの区間は、歩道がないうえ道幅も狭く、地域住民は不安を抱えている。早期改築をお願いしたい。



個別最適な学びの充実

児童・生徒1人ひとりに応じた「個別最適な学び」を実現するため、財政支援の拡充と、教員業務支援員や専門的知識を有する人材の計画的な配置をお願いしたい。

●その他の要望事項

- ・白鷹高等専修学校への支援の充実
- ・地域医療の確保
- ・有害鳥獣対策への支援
- ・酪農業の持続可能な支援 など15項目

追跡レポート

— あの事業は今? —

政策提言に当局が回答

全文は
こちら



昨年8月26日、令和8年度に向けた政策提言を行いました（概要）

提言1 安らぎを感じ、安心して暮らせる「まち」づくり

①緊急事故時の対策

②賑わいと活力を生む循環型観光の実現に向けた協働による観光まちづくりの推進

提言2 新たな人の流れの形成と、郷土を愛する「ひと」づくり

①総合的な福祉人材の確保対策

②教育環境の充実

提言3 安心して働き、魅力と活力にあふれる「しごと」づくり

①働きやすい職場環境の充実と若者の町内定住促進

②コメ政策等への対応



5月29日、当局（町）から回答がありました（抜粋・要約）



提言1 ①緊急事故時の対策

災害や緊急事故において、誰も取り残さないための情報伝達網の整備を確立すること。

当局 情報格差を埋めていく

LINEや防災アプリのようなデジタル技術と、低速での広報車走行や文書配付などアナログ手法での伝達体制を拡充し、情報格差を埋めていきます。



提言2 ②教育環境の充実

図書館司書を配置し、長期休暇等の学習習慣化を図るための学習の場の開設に取り組むこと。

当局 学校司書を配置、学習の場は検討

学校図書情報を電子化し、学校司書を配置します。個別最適な学び・協働的な学びが一体となった学習の場のあり方について、土日や長期休暇中を含めて検討を進めていきます。



提言3 ②コメ政策等への対応

担い手確保は喫緊の課題。設備導入支援などの制度を把握・周知し、活用促進を図ること。

当局 必要な支援情報は積極的に提供する

新規就農者確保への取り組みを継続し、有利な補助金を活用いただけるよう、認定農業者への誘導を図りつつ、必要な支援情報は積極的に提供していきます。

区長会連合会理事会との意見交換会

(議会活性化特別委員会)

白熱開催

5月15日、地域の課題について話し合い、地域や議会の活性化を図るとともに、町民にわかりやすい議会改革や開かれた議会につなげることを目的に、区長会連合会理事会の方々との意見交換会を開催しました。

- **テーマ** 白鷹町の地域課題について
～地域の担い手不足と地域活動～
- **参加者** 白鷹町区長会連合会理事会8人
白鷹町議会11人、他
- **内容** ◆3つの班に分かれ、ワークショップ形式で意見を出し合った。
◆班ごと地域課題を1つに絞り、考えられる解決策や具体的な方法・役割の整理を行い、各班から発表いただいた。

地域課題

解決策や方法

第1班 *地域の伝統文化の継承が難しくなっている。

- *他の自治体の取り組みや、国・県の支援策などの情報を収集していく。
- *他地区との連携のあり方を考える。
- *当事者は、危機感を周囲に伝え、助けを求めることも大事。 など

第2班 *個を尊重する傾向が強くなり、コミュニケーションをとる場が少なくなっている。区役員等の固定化も課題。

- *コミュニケーションをとる手段を考える。
- *住民届けの段階で、地域がいろんな人の手で成り立っていることを理解してもらう。
- *地域住民の理解を得ながら事業をしなければならぬ。 など

第3班 *担い手がなく、今後先細りしていく不安がある。地域計画(農業分野)の達成も難しい。

- *地域おこし協力隊の活用や、リーダーの育成、外国人の雇用。
- *地域住民でがんばっていくしかない。
- *町の専門職員をもっと増やす。 など

区長会からの声

- ◇意見交換の時間が短かった。
- ◇この会の結果がどのような形で反映されるのか期待している。

意見交換会を終えて

ワークショップ形式にしたことで、肩の力を抜き、同じ目線で地域の課題に向き合うことができました。出し合った意見は、今後、一般質問や政策提言、地域での取り組みなどに生かしていきます。



地域課題を深掘り

広報委員

委員長 佐々木誠司
副委員長・編集長 衣袋正人
委員 山田 仁
委員 笹原俊一
委員 横山和浩
印刷・梅津印刷

新町長になって初の定例会。所信表明とともに補正予算などが示され、新たな町づくりが始まりました。
議会での答弁では緊張した、という田宮町長。白鷹の未来を託された責任を胸に、新たに就任された副町長をはじめ職員の皆さんと力を合わせ、ご活躍を願うところです。
私たち議会も、住民の負託を受けた代表として、町の発展という共通の目標に向け、建設的な議論を重ねながら、その役割を果たしてまいります。
(横山)

編集後記



発行責任者 白鷹町議会議員 菅原隆男 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地
E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp

電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128
HP <http://www.town.shirataka.lg.jp/1053.htm>

